令和5年度学校経営計画書

学校名<u>三次市立八幡小学校</u>校長名<u>香川</u>美佳

I 学校の状況

学級数	3	児童·生徒数	1 7	教職員数	6
メールアドレス		yawata-e@school.miyoshi.hiroshima.jp			
ホームページアドレス		http://www.kisayawata-e.hiroshima-c.ed.jp			

Ⅱ 学校教育目標

【吉舎中学校区教育目標】

自ら学び、考え、自立した行動ができる「きさ」の子どもの育成 【八幡小学校教育目標】

やさしく かしこく しなやかな 児童の育成

Ⅲ 使命・存在意義(ミッション)

なりたい自分の夢や目標の実現のために、八幡のひと・こと・ものとの対話を通した多様な体験活動を通して、ふるさと八幡への郷土愛を育むとともに、変化に対応して生きる力を身に付けた人材の育成に貢献する。

- 自己を認識し、自信をもって自分らしく表現する力の育成
- グローカル (グローバルな視野を持ち地域貢献できる) マインドの育成
- 小規模・複式校での特色ある学び(やわたふるさと学習)の積極的な発信

Ⅳ 重点事項(努力点)

【身に付けさせたい資質・能力】

コミュニケーション能力 主体性 アイデンティティー

1 「特別の教科 道徳」に焦点化した9年間を見通した授業改善、教科等横断的 なカリキュラムの発信

「互いを認め合い、共に生きようとする力を育む道徳教育の創造」 ~考えを伝えあう授業づくりを通して~

- 2 保小中高一貫でつなぐ「きさで きさの子を 育てる」
 - 小・中・高クリーン活動における地域貢献
 - きさ教育の日における学びの発信と交流
 - 吉舎小学校との交流による郷土愛の育成(ICT機器の活用,交流授業等)
 - 〇 ようこそ先輩
 - ※ コミュニティ・スクール導入に向けた準備
- 3 やわた発信3大プロジェクト
 - (1) 「ふるさと吉舎八幡」とつながり隊(オペレッタ「八幡の四季」, 八幡子供 太鼓, 年賀状, 遠足)
 - (2) ようこそ奥田元宋の母校へプロジェクト
 - 奥田元宋・小由女美術館と連携した取組と芸術鑑賞
 - 〇 吉舎小学校への情報発信
 - (3) 落語等の古典に親しむ

▼ 中心価値・行動規範

「八幡小学校で学んでよかった」あの先生に学んでよかった」

と思える教職員を目指します

自学・・・自らの授業力・職務能力を磨く教師

礼節・・・ホスピタリティ―をもって組織的に職務を遂行する教師

熱意・・・子供を信じ、認め、尊重し、夢と志をもたせる教師

VI 現状分析

学校内外環境の分析

O (支援的要因)

【地域】

- ・豊かな自然環境
- ・地域社会の期待と積極的 な支援(外部講師)
- ・地域の学校の存続を希望する思いが強い。
- ・日彰館高校との連携 (グローカル人材の育成)
- ・中国やまなみ街道
- ・後鳥羽上皇伝説・歴史と 文

化

【市教委】

外

部

環

境

- ・理科支援教員配置
- 外国語指導員配置

· ALT 配置 【県教委】

• 学校間連携加配(音楽)

S (強み)

【学校】

- ・奥田元宋画伯の母校
- ・小由女先生との交流
- ・きめ細やかな少人数指導
- ・やわた子ども太鼓, オペレッタ, 落語等の芸術文化の 継承
- 異年齢集団による学校行事・児童会活動
- ・小中高一貫教育の充実 【児童生徒】
- 基礎学力がほぼ定着している。
- ・規範意識が高い。
- 生活習慣が整っている。
- ・一人一人に活躍の場がある。

【保護者】

・教育活動への保護者満足度が高い。

【 資質・能力 】

- 主【主体性】
- コ【コミュニケ―ショ ン能力】
- |ア||【アイデンティティ | 一】
- 〇美術館連携・小由女 先生との交流の継続 主コ
- 〇やわた子ども太鼓 オペレッタ,落語の 継承 ア
- 〇コンクールへの挑戦 主
- ○働き方改革の推進 主・コ・ア

〇情報発信

内

部

環

境

主・コ・ア

- 〇子供が主体的に活動を広げ、自己有用感を高めることができる活動の推進 コ
- 〇公正で個別最適化された学びへAIを活用したドリル導入へ 主
 - 〇保護者, 地域との信 頼関係

主・コ・ア

T(阻害的要因)

【地域】

- ・徒歩通学の困難性
- ・少子高齢化が進み、戸数に

対して児童数が少なく, 点在しているため,休日 や放

課後の子供の集団遊びが ない。

・実体験に乏しくゲーム依存の傾向にある。

W (弱み)

【学校】

• 教頭兼務

- 【児童】
- ・多様性を受け止めたり、多様な意見を交流したり、相 手のこと考えて行動した りする経験が乏しい。
- ・学力到達度検査,体カテストの結果,目標値に未達成の児童がいる。

【保護者】

PTA会員数の減少(11)

Ⅷ 中期経営目標及び短期経営目標

AT TH	中別在呂日保及い及別在呂日保 - 古世の帝日毎 - - 日仕れた取り、また				
	中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策		
確かな学力	豊かな字力の定着と主体的・対話 的で深い学びの 実現	(1)基礎的・基本的な知識・技能 の定着	① 自己の目標を設定する。自分の弱点(間違えた問題)を自主ノートで復習する。 ② 「公正に個別最適化された学び」の導入により、学び直しをさせる(ドリルタイム等)。 ① 読書朝会・読み聞かせ等を通		
		(2)表現力の育成	して、読書習慣を身に付ける。 ② 各種作品コンクールに年間 で一人6本以上取り組む(習 字・俳句・作文・写生・科学研 究など)。		
豊かな心	自己有用感の向 上と規範意識の 定着	(1)自己有用感の向上	① オペレッタ、八幡子供太鼓、やわた寄席の努力ぶりを全校の前でしっかり評価する。(児童同士・教職員)② 「福祉・ふるさと教育」に取り組み、地域に学び地域に返していく活動を充実させる。 ③ 行事や委員会などで一人一人が活躍する場を設定し、自己肯定感を高める取り組みを充実させる。		
		(2)規範意識の醸成	① 小中連携合同研修で道徳の 授業を公開し,道徳と行事をタイアップさせる。② ステージ発問の導入を意識 し,道徳の授業を充実させる。③ 「あいさつ・返事・はきもの そろえ」を奨励し,その成果を 評価する。地域・来校者の方に も進んで気持ちの良いあいさ つをする。		
健やかな体	健康の保持増進と体力の向上	(1)生活習慣の確立	① 学期に1回、個人面談を行い自分の健康課題に気付かせる。 ② テレビ・ゲーム・インターネット利用の実態把握を行い、保護者に啓発する。		
		(2)体力の向上	① 合同体育・全校体育を実施し 他学年と切磋琢磨することで 体力の向上をめざす。 ② 頑張り表や記録証を活用し, 自己目標を設定させる。		
信頼される学校	地域・保護者から 信頼され期待さ れる学校づくり	(1)地域とともにある学校づくり	① 毎月2回以上,便りや通信, HP等で子供の様子を具体的 に発信する。② 家庭・地域と一体となった防 災教育,ゲームの弊害教育を進 める。① 教職員の意識改革を進める		
· 校			ための研修の実施 ② 一斉退校日の完全実施。		